

年頭のごあいさつ

～2021年は新しい時代への扉を開く年へ～

昨年は、大変な一年でしたが、市民の皆さんのご協力のおかげで茅野市としては何とか過ごせた一年でした。本当にありがとうございました。

今年こそ次の時代への扉を開く年にできればと思っています。今、時代が大きく変わろうとしています。一極集中から多極化、分散化と言われ、そうしたものの捉え方や考え方やライフスタイルそのものが変わっていくだろうと言われています。それに対応できる、そんなまちを作っていければと思っています。

今年の一字は「仁」とさせていただきます。この字を選んだ二つ目の理由は、私自身が人への思いやりを持って色々なことに取り組みたいと思っています。二つ目の理由は、お互いがお互いを思いやることで、コロナ禍の厳しい時期を乗り越えていくことができるのではないかと考えているからです。新しい時代に向けて、みんなでこれからの茅野市を考えていきたいと思っています。今、この時も大事なのですが、少し先を見て茅野市のことを考える、そういったことが必要な時期に来ていると思いますので、みんなで思いやりを持ちながら、お互いに茅野市の未来を考えていきましよう。

今年も昨年と同様に市民の皆さんには様々な点でご協力やお願いをすることになるかと思えます。茅野市がこの地域の中核として20年後30年後にも輝き続けていくための礎を市民の皆さんと一緒に作っていききたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

茅野市長 今井 敦

今年の1字は

「仁」

～お互いがお互いを思いやり
新しい時代に向けて
進むために～

